

ときなん祭(クラブ発表会)

難しかった雅楽

六年 ○○○○

ぼくが、ときなん祭に向けてがんばったことは音取(ねとり)です。音取は、全体の曲が始まる前の演奏のことです。今年、楽太鼓から笙に変わったので、音取をすることになりました。最初は、音が出なくて難しいと感じたけど、だんだん音が出るようになり、上達してきているのが分かりました。クラブで初めて演奏して、雅楽は楽しいことが分かりました。



【雅楽クラブ】

※音取(ねとり)とは、雅楽で管弦合奏の始めに作法として行う一種の序奏のこと

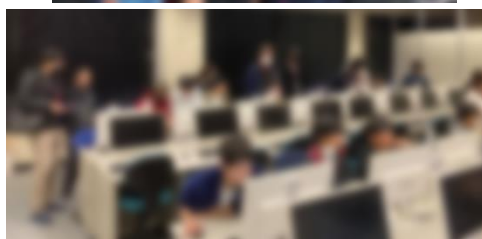
緊張したときなん祭

六年 ○○○○

私は、なぞなぞゲームをプログラミングしました。正解したら次の背景へ移動するプログラムを制作することが難しく苦労しました。

本番の日。舞台上上がった瞬間、お母さんとお父さんを見つけて、緊張感が増しました。私の紹介する番になっ

たとき、緊張しすぎて言葉を忘れてしまい、頭の中がパニックになりました。でも、最後まで無事に紹介することができたので、安心しました。



ブルーアイズホワイトドラゴン

五年 ○○○○

ぼくは遊戯王が好きで、その中でも強くてカッコいいブルーアイズホワイトドラゴンをかこうと決めました。まっすぐな線は定規で引き、文字はていねいに書きました。青を基調に、濃淡にもこだわって色を付けました。キバとツメのするどさや強そうな顔が表現できたと思います。

ときなん祭の後も、正面玄関に掲示してもらって多くの人に見てもらえるのでうれしいです。

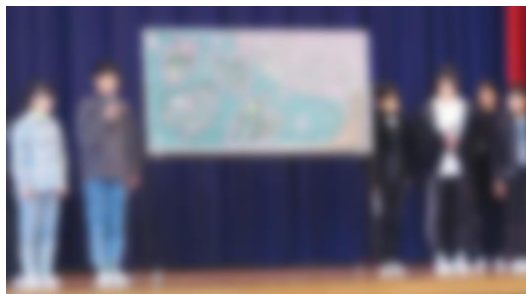
練習の成果が出せたときなん祭

四年 ○○○○

ときなん祭のダンスで大変だったことは、ダンスの音源をみんなが決

【プログラミングクラブ】

めたことです。今年初めてのダンスクラブの発表なので、どのくらいかみんがみんなにとってちよいど良いか分からず、苦労しました。練習の時間が少なく、本番に練習の成果が出せるか不安でしたが、無事に終えることができて良かったです。



【イラストクラブ】

堂々と和太鼓を叩いたときなん祭

六年 ○○○○

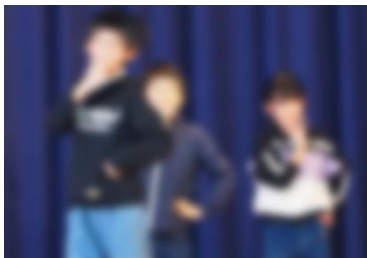
「間違えても失敗したという顔をしないように。そのまま堂々とたたき続けよう。」

と、講師の先生にアドバイスをもらってました。演奏をしているとき、少し間違えてしまったこともあったけど、その言葉を思い出し、最後まで演奏を続けました。三年間の集大成であるときなん祭で自信をもって演奏できたので、これからもいろいろなことに真剣に取り組んでいきたいです。

はく力のある和太鼓

三年 ○○○○

どのクラブの発表もすごいなと思いました。その中でもぼくが一番好きだと思ったクラブは、和太鼓クラブです。はく力があって最高でした。とくに、「ドン、ドン、ドン、それ！」のところがすきです。太鼓をたたくのでつかれているのに、息を合わせてたたけるのがすごいです。ときなん祭を見て、和太鼓クラブに入りたくまりました。



【ダンスクラブ】



【和太鼓クラブ】

雪遊び

ゆきあそび たのしかったよ

一年 ○○○○

ゆきがたくさんつもっていて、ぼくはわくわくしました。学校にくと、みんなでゆきあそびをするじかんなったので、ゆきをさわってみました。ふわふわして気持ちよかったです。ぼくは、ともだちといっしょにゆきだるまをつくりました。ぎゅつとにぎってかたくしながら、ゆきだまを大きくしていきました。小さいゆきだまは、ゆきがっせんでつかいました。先生にたくさんあてて、たのしかったです。



【雪合戦】

とっても楽しかった 雪あそび

二年 ○○○○

学校のうんどう場に、雪がつもりました。朝から雪がふっていて、一時間目には、うんどう場に出て、雪あそびをしました。わたしは、友だちや先

生たちに雪玉をなげました。手ぶくろなしでさわる雪は、とてもつめたかったけれど、雪がっせんができて、楽しかったです。まわりを見ると、大きな雪玉を作っている子がいて、おもしろそうだなと思ひ、わたしも作りたくなりました。次に雪がふって、雪あそびをするときは、みんなで大きな雪玉を作りたいです。

楽しかった雪遊び

三年 ○○○○

運動場一面に雪が積もってしまいました。まずは、○くんと雪の上に転がって遊びました。きれいな人型ができました。

次に、友だちや先生と雪がっせんをしました。みんな先生に雪玉を投げていて、とてもおもしろかったです。雪遊びが終わるとき、○くんたちの作っていた雪だるまを見ました。大きな雪だるまですごいなと思いました。来年もみんなでいろいろな雪遊びをして楽しみたいです。



【大きな雪玉づくり】

第五回ナナメの教室

- ◆日時 一月二十六日(金) 六時間目
- ◆参加者 五・六年生児童・保護者十六名
- ◆テーマ 「わたしの好きな言葉」



【好きな言葉を書き込む子どもたち】

自分の好きな言葉について

五年 ○○○○

ぼくの好きな言葉は、「二球集中」や「ありがとう」です。ナナメの教室では、「がんばれ」「いいね」「大好き」「夢はかなう」など、自分がポジティブになる言葉や相手が喜んでくれる言葉など、「自分や相手の心が気持ちよくなるような言葉」がたくさん出てきました。

このナナメの教室は年に数回しかありません。家族や友達、先生や地域の人たちへ「ありがとう」の気持ちをもちながら、一回一回を大切にしていきたいと思います。

好きな言葉は人それぞれ

六年 ○○○○

今回のナナメの教室のテーマは、「わたしの好きな言葉」でした。わたしの好きな言葉は「ありがとう」や「すごいね」などの言われてうれしい言葉が多いです。女子は、わたしと同じで言われてうれしい言葉を書いていた子が多かったです。男子は、ゲームやゴルフなど、好きなことややっています。楽しくなる言葉が多かったです。

ナナメの教室では、たくさん意見を言うことができました。授業でも自分の考えた意見を言えるようにしたいです。



【グループで意見発表】

「ときなんナナメの教室」は、昨年度から始まりました。子どもたちは、自分の考えを伝え合う中で、自分なりの答えを見つけることができました。保護者の皆様、ありがとうございました。

